



安心して生まれ、育ち、暮らせるふるさと生駒をつくろう

大震災から1年、市立病院も春からの造成工事に向けて始動！

今年^{かなめ}は市立病院を要にした 地域医療の在り方を考える年に！

1月4日、造成工事の入札を公告！

市は地元や関係機関との協議を終え、昨年11月、県に東生駒駅前の病院用地の開発許可申請書を提出しました。12月28日付で県から許可が下りました。

本年1月4日、市は 病院建設用地造成等工事 病院建設工事实施設計に係る地質調査及び地震波作成業務(免震構造にするための追加調査)の2件の入札を公告しました。どちらも入札は1月27日、業者が決定し、順調に進めば3月から造成工事が始まります。



実施設計業務、進行中！

入札のやり直しや設計の見直しによりスケジュールは遅れています。現在、市と徳洲会、石本建築事務所が病院の実施設計を検討中。市議会の『生駒市立病院の基本設計に関する調査報告書』に示された提案を出来るだけ取り入れ、実際に医療を提供する徳洲会スタッフの意見を聞きながら協議中とのこと。建物は完成後の修正が難しいので、開院を遅らすことのないようにしつつ、できる限りの検討を望みます。



2月19日、病院事業の現状について 3人で分かりやすくお伝えします！

市は広報いこま平成22年10月15日号で市立病院事業について特集を組み、計画や開院(26年春を予定)までのスケジュールを報告。私もニュースで報告してきました。しかし、病院事業予算否決(23年3月議会)や暴力団云々報道(23年6月)などもあり『工事はどうなってるの？ 病院いつできるの？ ・・・』といった声をお聞きします。そこで、疑問にお答えしようと、桑原義隆議員(無党派)、山田耕三議員(みんなの党)と一緒に『市立病院事業報告会』を企画しました。p3に病院事業関連記事 みなさん、是非、お越してください！ これからの地域医療の在り方も考えましょう！

パパ・ママもお越してください！



市議、山田耕三・桑原・伊木による

市立病院事業報告会

日時 2月19日(日) 10:30~12:00
場所 セイセイビル 402,403会議室
内容 現状報告の後、みなさんからの質問にお答えします。(託児サービスあり)

託児:要予約(FAX79-9980山田まで)

現在、子どもたちの多くは市外の病院に入院中。市立病院の小児科は20床！市内でも入院できるようになります。1日も早い開院を！

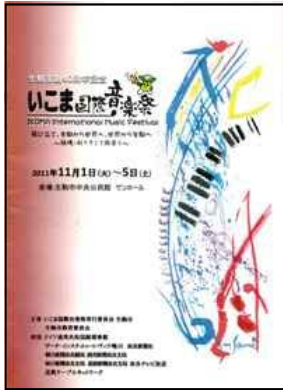
ブログもご覧ください!!
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>

『さようなら原発 1000万人署名』を成功させよう！

私たちは安全性の確立していない原発の稼働をこの地震大国日本で容認してきました。東日本大震災は私たちに深い反省と原発反対の行動を起こすことを求めています。原発がほとんど止まった状況でも電力供給が可能なことも分かりました。今こそ、命と地球環境のために住民が意思を示す時と考えます。(署名用紙が必要な方は伊木までご連絡ください。電話 71-6601)

署名用紙の収集は 2月18日 で終わります！

署名用紙は各地区の担当者の自宅のポストに入れてください。担当者名は署名用紙に載っています。伊木も収集しています！



プログラムの表紙

日程	
11/1,2	公開レッスン・音楽塾・吹奏楽部指導
11/3	コンサート 吹奏楽部指導
11/4	公開レッスン・音楽塾・吹奏楽部指導・クロージングコンサート
11/5	コンサート

コンサート 13時～ オープニングガラコンサート
 コンサート 18時～ ベートーヴェンのピアノとバイオリンのためのソナタ第1番、5番、9番
 コンサート 14時～ ファイナルコンサート(韓国霊山齋保存会、生駒・鹿ノ台中学校吹奏楽部も共演)
 公開レッスン ドイツからの5人の演奏家がマスタークラスを受講生を1対1で指導、受講生によるクロージングコンサートも開催。
 音楽塾(世界はともだち 音楽塾)
 桜ヶ丘・生駒台・生駒東小学校に演奏家が出向いて演奏、子どもたちと交流。

この音楽祭は“3D”??

1 昨年、平城遷都1300年記念事業として初めて企画された『いこま国際音楽祭』に私は深く感動。今回はしっかり聞きたいと通し券を購入し会場に通いました。改めてこの音楽祭のすごさを実感。今回、再度、一般質問で取り上げました。

普通のコンサートを“1D”としたら、この音楽祭は“3D(スリーD)”と言った人がいました。コンサートで市民に本物のクラシック音楽を、公開レッスンで若手音楽家にプロへの道しるべを、“世界はともだち音楽塾”ですべての子ども達に外国の一流演奏家と身近に接する機会を、そんな目的が異なる3つの企画を提供。3Dというのが相応しいかもしれません。

今年は市制40周年記念行事として、そしてさらに東日本大震災に対する鎮魂のための企画も盛り込まれました。石島正博さんがこの音楽祭のために作曲された LITANY-連禱-《2011・3・11》には韓国からの男性重唱と市内の中学生による合唱、伊東裕さんのチェロも加わりました。被災地から奈良県に避難された方も招待されました。

示された市民力、財政負担も軽減!

市は音楽芸術、教育の視点から高く評価する一方、職員の人件費は残業代含め600万円以上かかった等、経費の面のしんどさを強調しました。しかし、入場料・受講料(444万円)が見込み(400万円)を上回り、協賛金(123万円)も加わったため、市の負担金は433万円(当初の見込みは600万円)に留まりました。さらに今回はコンサートの企画を1つ増やしたので、PR次第では増収も見込めたと思います(22年度は2つのコンサートで417万円)。海外から招いた演奏家などの交通費、滞在費、謝礼等の合計560万円がチケット収入と協賛金で賄えました。また、演奏家のお世話、招待者の接待、受付などの多くを市民ボランティアが対応、特に音楽的専門知識と語学力の両方が要求される通訳は全てボランティアが対応する

など、市の負担は軽減、市民力が発揮されました。

『いこま国際音楽祭』はまちの宝物!

市は、今回は前回に比べ市外の参加者も増え、この音楽祭が認知されてきたと評価。公開レッスンには今回は上海からも受講生があり、また、前回の受講生の中からドイツに留学した人もありました。

今回は市民に呼び掛け結成された実行委員会が市・教育委員会と共に主催しました。実行委員会に参加された1人は、初めてなのでどのような活動をすればよいかよく分からなかった、まだまだ改善の余地があると話されました。

この音楽祭の音楽監督は長年生駒に住まれ、現在ドイツ在住のピアニスト。この方の“クラシック音楽の魅力をみなさんに伝えたい”という熱い思いとそれに共感した国内外の音楽家、練習を重ね優秀な成績を修めている市内の小中学校の子どもたち、手弁当で音楽祭を支えたボランティア、長年生駒で音楽活動をされてきた市民など、市民との協働で成功した音楽祭です。しかし、まだ芽が出たばかりです。この音楽祭は音楽の観点だけでなく、子どもたちへの教育的効果、市民と協働の街づくり、商業・観光への波及効果など、さまざまな点で期待でき、まちの宝物に育っていくのではないかと思います。

ところで、生駒市ではこれまでから邦楽、合唱、子ども向けの音楽、ジャズなど様々なイベントが市の主催、後援等で企画されてきました。これら全ての音楽イベントを市の音楽芸術施策としてどのように位置づけ、どのように発展させるのか、長期的な視点での検討と、いこま国際音楽祭を単なる記念行事に終わることなく続けていくことを市に求めました。生駒が子どもたちを心豊に育てるまち、大人も心豊かに暮らせるまちになってほしいと願っています。



病院事業特別委員会 早く、病院づくり核心の議論を！

委員会：まずは暴力団報道の解決を！

先のニュース(10/20)で報告しましたが、私は“病院事業は市民福祉委員会で十分審査できる”として特別委員会の設置に反対。しかし、委員会は設置され2回開催されました。11月21日は主に「徳洲会と暴力団との関係」が議論され、市に対し“警察への照会を求める”ことを決定。12月20日、市長から『警察に照会し3月議会までに報告する』と回答がありました。

徳洲会と暴力団の関係も、先のニュースでお知らせしたように、私は臓器移植を巡る検察の判断や市が能宗専務理事に求めた確認文書から“徳洲会と暴力団の間に問題となるような関係はない”と考えています。しかし、議会内では関係に疑念を持つ議員もいることや市側のミス(指定管理者公募の際の警察への未照会)は見逃ごせないとする意見もあって、照会すべきという方向でまとまりました。これに対し、市長は、当初は照会しない意向でしたが、議会からの強い要請に加え、12月議会で市長提案の「生駒市暴力団排除条例」が可決されたこともあり、方針を転換、警察との合意書に新たに“議会からの要請で警察へ照会できる”とする趣旨の条項を加えた上で、警察に照会すると答弁。今回の判断は、市議会の意向を尊重し、また、今後、市立病院の指定管理者として医療を提供する徳洲会にも配慮した最適の判断と考えます。しかし、もともと市側のミスがなければ、こんなに長く議会で議論されることはありません。議会が取り上げるたびに、“徳洲会”と“暴力団”、2つの言葉が、不適切な関係にあるかのように独り歩きしてしまいます。1日も早く照会を終え、疑念を払しょくしたいものです。

この他、2回の委員会では議会として行う調査の分担や今後の委員会としての取り組みについても話し合われました。市民参画は樋口清士・白本・吉村議

員、地域の医療連携は有村・成田・樋口稔議員(敬称略)が調査を担当することになりました。

市長：特別委員会に申入れ！



12月20日の委員会では市長から、『本委員会の設置は病院事業について積極的に調査し、よりよい病院事業の推進に向けた提案をすることを目的として提案された。設置の目的を実現するためには指定管理者医療法人徳洲会の提供している医療を知ることが必要。そのために特別委員会として同法人が運営している病院を視察することや同法人の幹部との意見交換を真摯に検討して欲しい。』という趣旨の申し入れがありました。また、視察や意見交換は同法人の徳田虎雄理事長も強く望んでいて、6月と11月には同法人から正副議長に直接要請されたとのこと、11月には能宗専務理事本人が来訪され要請されたことが市長により明らかにされました。

徳洲会と意見交換のできる委員会に！

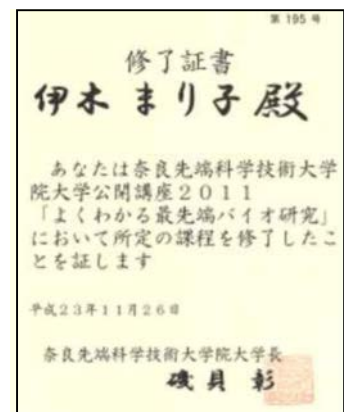
徳洲会を指定管理者とする市立病院事業を議決した議会に対し、なぜ、市長がこのような申し入れをするのかと、不信に思われる方がいるかもしれません。私は徳洲会が指定管理者に応募直後、岸和田徳洲会病院を視察。また、徳洲会幹部を招いた市民集会の開催にもかかわらず、意見交換をしました。しかし、前任期中の特別委員会は意見交換のできる環境ではありませんでした。指定管理者がどのような姿勢でどんな医療を提供しようとしているのか等を十分知らなければ議会からよりよい病院づくりへの提言などできるはずがありません。一日も早く核心の議論を始め、今期こそ、議会と行政が協力して市立病院事業を推し進めたいものです。そんな役割を果たす委員会なら設置に反対した私も大いに歓迎です。



しばしDrまり子に戻って勉強、しかし・・・

今は診療していませんが、私の研究テーマは皮膚上皮性腫瘍、中でも“基底細胞癌”でした。この腫瘍は毛に関係した腫瘍と考えられていて、通常、毛のない皮膚には発生しません。私は生駒総合病院でこの腫瘍が手のひらにできた患者さんを治療。その発生機序を恩師と共に考察し、論文にまとめる予定でした。しかし中断、恩師も亡くなりました。去年の秋、奈良先端科学技術大学院大学の公開講座で『細胞がん化の分子メカニズム』など8つの講座が開かれていることを知り、最近の研究を聞き、論文再開のきっかけにしたいと受講しました。充実した時間を過ごし満足して大学を出たのですが、バスの便は1時間先までありません。周辺の手つかずの風景に『最先端の研究をしている大学を中心に人の集まる街づくりを・・・』と、気がつく

ノーベル賞候補山中伸弥先生のiPS細胞研究はこの大学で開始。この生駒で最先端研究が行われています！



災害・原発問題と行政や議会の対応

17年前の1月、考えてもみななかった阪神淡路大震災が起きました。そして昨年3月東北地方でおきた未曾有の大地震と予想もしなかった原発事故。2つの大災害に対する市や議会の対応をまとめてみました。

伊木、災害時の救急医療体制整備を要請！

議員になって初めての一般質問で、『地震などの大規模災害が起きた時、どのような医療救護的活動が可能か』質問しました。市は昭和63年に生駒市医師会と『医療救護についての協定書』を結んでいて、医師会から市に医療救護の計画が提出されることになっていました。しかし、医師会からは一度も提出されていません。先の任期中にこの問題を指摘。未だに、検討中とのこと。市も医師会も3・11をしっかりと受け止め早期に対応して欲しいと、年明けに担当課に再度、要請しました。

市議会災害対策本部も設置へ！

議員にはヘルメットや防災服、長靴が配布されます。ヘルメット等に縁のない仕事をしてきた私は、ちょっと緊張して受け取りました。しかし、生駒市地域防災計画には災害時に議会がどのように動くのか記載がありません。現在、議会では議長を本部長とする議会災害対策本部の設置や、災害時対策行動マニュアルを検討中です。防災服に手を通すことのないことを願いつつ、いざとなれば防災服を着て駆けつけたいと気を引き締めています。

震災がれきの受け入れは行わず！

各地で問題となっている震災がれき、特に放射能に汚染されたがれきの受け入れですが、生駒市では放射能汚染が明らかになる前に、国からの要請に応じ、がれきを受け入れる方針を打ち出しました。しかし、台風12号による奈良県下のがれき受け入れ要請への対応が先として、現在、放射能汚染がれき含め、震災がれきの受け入れはしていません。

2/1から給食食材の放射性物質検査を実施！

市では、2月1日から、福島・宮城など17都県を産地とする食材で、地元で検査を実施していない食材について、買い付け前に放射性物質検査を実施することにしました。検査基準値を超えた食材は使用しません。毎月上旬に前月の結果を一括して市のホームページに公表します。

義援金や職員の派遣

義援金：東日本大震災は現在も受付中。1月13日現在、(福祉総務課取りまとめ分)は20,538,431円。台風12号災害は23年10月で受付終了。767,696円。今も建築関係の職員1人を十津川村に派遣中。

市議会、意見書を提出

23年9月議会で全会一致で『原子力発電を前提としないエネルギー政策への転換を求める意見書』を決議し政府関係機関に提出(議会報N0108参照)。

川をきれいに！

地産地消でCO2削減を！

レシピは市のホームページの健康課のページ[農業祭]に掲載。健康づくり推進員さんの提案！毎月19日は「わ食の日」。「わ」には和やか、輪になって楽しい食事、の意味も込められています。健康作りは毎日の食事から！

黒豆ご飯：市内農家の黒大豆を使いました。豆がほんのり甘く柔らかく仕上がりました！



米のとぎ汁は鉢植ブロッコリーに：ゆでたての鮮やかな緑と甘さに感激！自分で育てると一層おいしい？？



謹賀新年

葉ボタンとスミレ

議会の日程 (2/1以外は市役所5階議事堂で開催)

2月1日	19時	議会報告会(セイセイビル)
2月24日	13時	議案説明会
2月29日	10時	議会運営委員会(3月議会正式日程決定)
	13時	全員協議会
3月6日	10時	3月議会開会 本会議・一般質問
	7-9日(予定)	10時 一般質問終了後、本会議
3月13-16日	10時	委員会審査(予算審査あり)
3月23日	10時	最終本会議 (表示時間は開始時刻)

編集後記

今回、病院問題や地域医療を考える議員仲間ができたことをお知らせできました。喧々諤々、意見交換中です。議会では議会改革も進んでいます。12月定例会や議会の取り組み全般は2月1日発行の議会報をご覧ください。まり子